

# 第二期最上町国民健康保険データヘルス計画の中間評価

## 1. 第二期データヘルス計画の概要

### (1) 計画の目的

- 被保険者の健康保持増進により医療費の更なる適正化及び保険者の財政基盤強化を図る

### (2) 計画期間

- 平成30年度から平成35年度までの6年間

### (3) 計画の中間評価について

- 計画の進捗状況を確認し、方法や体制を工夫し、計画の方向性を再検討する。

## 2. 第二期計画策定時の健康課題

### 【健診受診率、結果等に関すること】

- 特定健診の受診率はほぼ横ばい。50～54歳の受診率が最も低い。
- 特定保健指導は、県と比較すると実施率が低く、特に男性が低い。
- BMI、血糖の有所見者の割合は男女ともに県を大きく上回る。
- 喫煙率が年々高くなっており、男性40歳以上、女性50～54歳が高い。
- 男性の飲酒頻度は「毎日」が高く、飲酒量は「3合以上」が県より高い。
- 生活習慣改善意欲のない者の割合は国県同規模町村と比較し高い。

### 【疾病の罹患、医療費等に関すること】

- 疾患別医療費(入院+外来)は慢性腎不全(透析あり)が増加傾向。糖尿病の割合が平成27・28年度1位
- 疾病分類別被保険者一人当たりの医療費の外来は、県と比較して糖尿病、慢性腎不全、高血圧症が上回っている。
- 歯科医療費は1日あたり、1件当たりの点数が国、県と比較して高い。

### 【介護に関すること】

- 介護認定者の有病率は心臓病、筋・骨格疾患、高血圧の順である。

### 【質的情報に関すること】

- 働き盛りの男性は建設業に従事し、夜遅く帰宅する人が多い。朝食をコンビニで購入し、帰宅時に車中でコーヒーを飲む等あり。
- 農業従事者は、「一服」で10時15時にパン等の捕食する人が多い。

### 【その他】

- 死因別死亡状況第1位悪性新生物(胃がん、大腸がん、肺がん)
- 標準化死亡比、男性は脳血管疾患、女性は心筋梗塞

## 3. 第二期計画策定後の新たな動き

- ◎ 新型コロナウイルス感染症の流行 (R2.4.7～5.25: 緊急事態宣言1回目)

## 4. 第二期データヘルス計画の中間評価

### 目標の進捗状況

#### 【改善したもの】

- 特定保健指導利用者の翌年度の腹囲の改善率は増加 (H28)50%⇒(R1)62.96%
- 健診問診票による喫煙者割合は減少 (H28)19.3%⇒(R1)16.4%

#### 【今後も改善が必要なもの】

- 腎不全・人工透析導入者は横ばい (H28)国保10人(男5人女5人)町全体33人(新規2人)⇒(R1)国保10人(男5人女5人)町全体33人(新規3人)
- 特定健診受診率は向上しているが、目標達成が危ぶまれる (H28)47.5%⇒(R1)51.3% (目標値)60%
- 特定保健指導利用率は横ばい (H28)19.3%⇒(R1)23.2%
- 受診勧奨値の未受診者割合は増加 (H28)35%⇒(R1)79.8%
- 健診問診票による2合以上の飲酒者割合は増加 (H28)13.9%⇒(R1)22.7%
- 1人あたり歯科医療費は増加 (H28)男性1,352円、女性1,740円⇒(R1)男性2,257円、女性2,278円

### 中間評価

- 特定健診受診率は向上しているが、目標達成が危ぶまれる。40～50代の働き盛りの年代の受診が低く、通院中のため健診受診しない方もいる。受診率が低い年代の特定健診受診しやすい体制の整備、通院中でも特定健診受診する利点の周知が必要。
- 受診勧奨値の未受診者が増加。受診勧奨時期が遅く、次年度の健診結果見てから受診する方もいる。受診勧奨時期の見直しが必要。
- 特定保健指導利用率は低い。利用者の腹囲改善率は増加。利用メリットの周知、健診当日実施の継続、タイムリーな勧奨が必要。
- 1人あたりの歯科医療費が年々増加傾向。歯周病検診や教室開催しても関心がないのか参加者が少ない。早い段階から予防の周知と検診等の対策強化が必要。

## 5. 今後の方向性(重点的な取組み)

- ◎方向性1 通院中でも特定健診を受診することの利点の周知、糖尿病・生活習慣病重症化予防の取組みの継続強化、飲酒喫煙対策の継続
- ◎方向性2 医療機関との連携による受診勧奨及び勧奨時期の見直し
- ◎方向性3 特定保健指導の利点の周知、勧奨時期の見直し
- ◎方向性4 歯科保健の充実(成人歯科検診等)

### 目標

#### 【中長期的目標】

- 主要死因別死亡率では国・県と比較すると心疾患が特に高く、脳血管疾患、不慮の事故、自殺、腎不全が高いこと、介護認定者の有病率で高い心臓病の原因となる動脈硬化の主要因である糖尿病、高血圧が医療費の上位を占めていることから、糖尿病予防及び生活習慣病重症化予防による腎不全・人工透析導入者の減少を目標とする。

#### 【短期的目標】

- 糖尿病をはじめ生活習慣病の予備軍を早期発見のために、特定健診受診する人を増やし、特定保健指導等利用し生活習慣改善による数値の改善、悪化防止を目標とする。

### 目標の達成に向けて重点的に行う取組み(主なもの)

#### 【特定健診受診率の向上】

- キャンサースキャンでの受診勧奨

#### 【受診勧奨値の未受診者の減少】

- 受診勧奨値の未受診者にタイムリーに文書・電話で勧奨する。

#### 【特定保健指導利用率の向上】

- 特定保健指導の利点の周知、健診当日・結果配布時の実施、タイムリーな電話勧奨

#### 【歯科保健の充実】

- 歯科検診の周知、検診受診勧奨